

2021年度 1Q決算

投資家様向け説明資料



2021年7月29日
オムロン株式会社

発表のポイント

■ 2021年度 1Q実績

- ・大幅増収増益。制御機器事業を中心に拡大する需要を捉え、グローバルで大幅増収。
- ・成長力と今まで培ってきた高い収益力の相乗効果で、営業利益を倍増。
- ・売上総利益率、営業利益額・率、当期純利益は、1Q期間で過去最高。
売上と売上総利益額も譲渡した車載事業を除くと過去最高。

■ 2021年度 通期見通し

- ・2Q以降も事業環境は好調継続。
- ・通期見通しは必要に応じて2Q決算のタイミングでアップデートする。
- ・部材不足や物流費高騰などのマイナス影響は引き続き注視し、適切に対応していく。

■ 企業価値向上に向けた取り組み

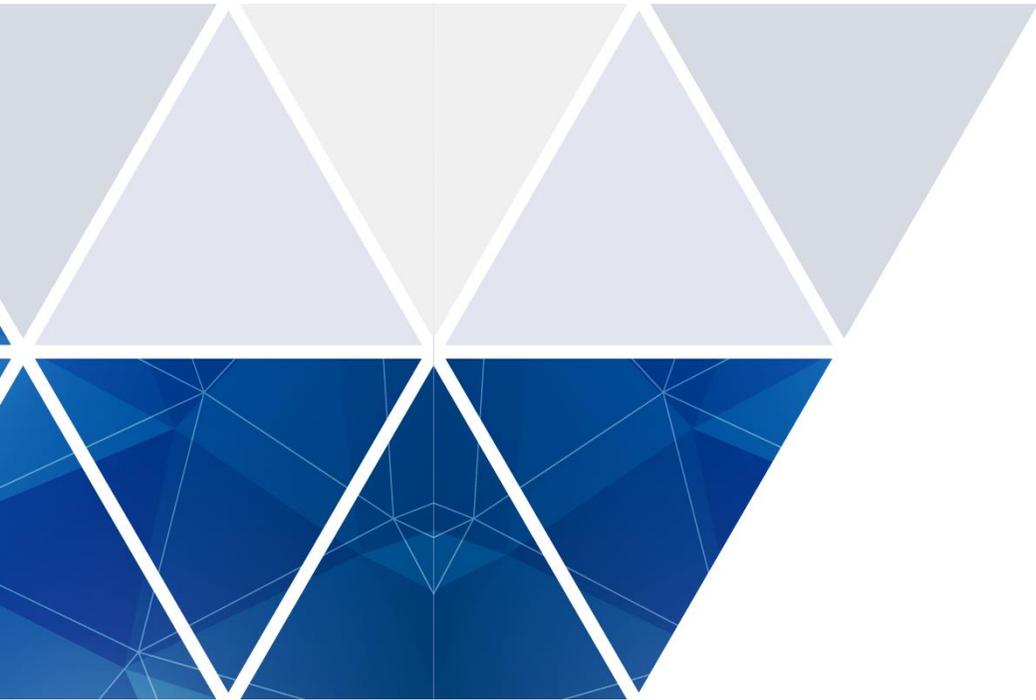
- ・CFO就任以降取り組んできた成長サイクルが回りはじめてきた。
- ・稼ぐ力の向上によって創出したキャッシュを、FAとヘルスケアに重点的に投資していく。
- ・引き続き中長期視点の経営によって、企業価値を向上させていく。

1. 2021年度 1Q実績	P. 3
-----------------------	------

2. 2021年度 通期見通し	P. 12
------------------------	-------

3. 企業価値向上に向けた取り組み	P. 15
--------------------------	-------

- 参考資料 -	P. 25
-----------------	-------



2021年度 1Q実績

2021年度 1Q実績

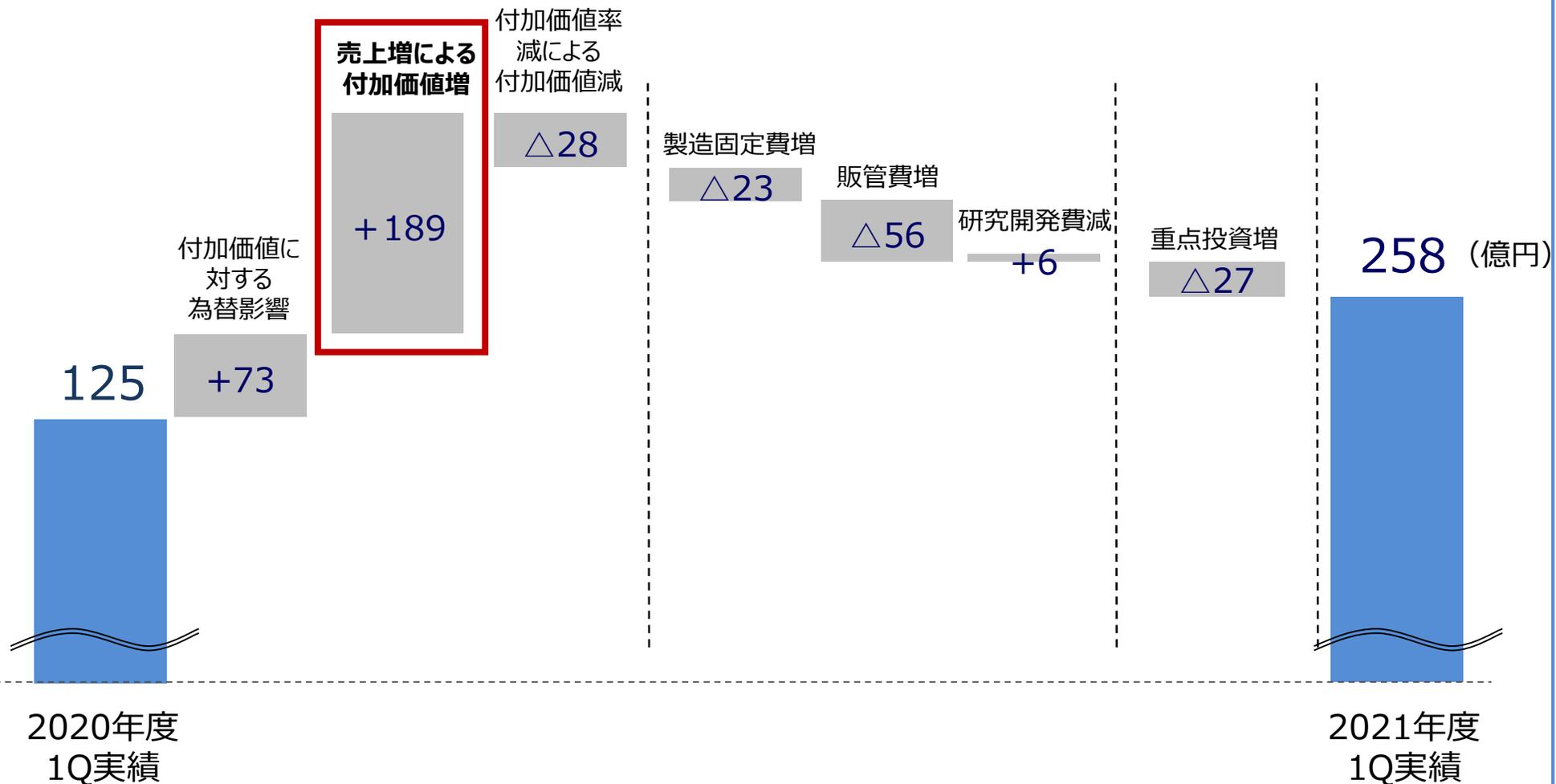
**大幅増収増益。営業利益は前年同期比で約2倍の258億円にまで増加。
売上総利益率、営業利益額・率、当期純利益は過去最高。**

(億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比	2019年度 同期比
売上高	1,465	1,882	+28.5%	+17.6%
売上総利益 (売上総利益率)	664 (45.3%)	874 (46.4%)	+31.6% (+1.1P)	+22.1% (+1.7P)
営業利益 (営業利益率)	125 (8.5%)	258 (13.7%)	+107.3% (+5.2P)	+157.5% (+7.5P)
当期純利益	97	202	+108.2%	+136.3%
米ドル 平均レート (円)	107.9	109.8	+1.9	△0.9
ユーロ 平均レート (円)	118.3	131.7	+13.4	+8.1
人民元 平均レート (円)	15.1	17.0	+1.8	+0.7

2021年度 1Q営業利益増減（前年同期差）

収益力を高めた上で売上成長を実現したことで、付加価値額が大幅に増加。



セグメント別 売上高

**制御機器事業、電子部品事業はグローバルで回復する需要を捉えた。
ヘルスケア事業は引き続き血压計がグローバルで好調。**

(億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比	2019年度 同期比
制御機器事業 (IAB)	821	1,109	+35.2%	+24.5%
電子部品事業 (EMC)	180	257	+43.3%	+12.0%
社会システム事業 (SSB)	181	159	△12.1%	△7.8%
ヘルスケア事業 (HCB)	266	348	+30.9%	+25.5%
本社他 (消去調整含む)	18	8	△53.9%	△72.4%
合計	1,465	1,882	+28.5%	+17.6%

セグメント別 営業利益

**制御機器事業、電子部品事業、ヘルスケア事業は大幅増益を達成。
電子部品事業は構造改革の成果が出始め、収益力が回復。**

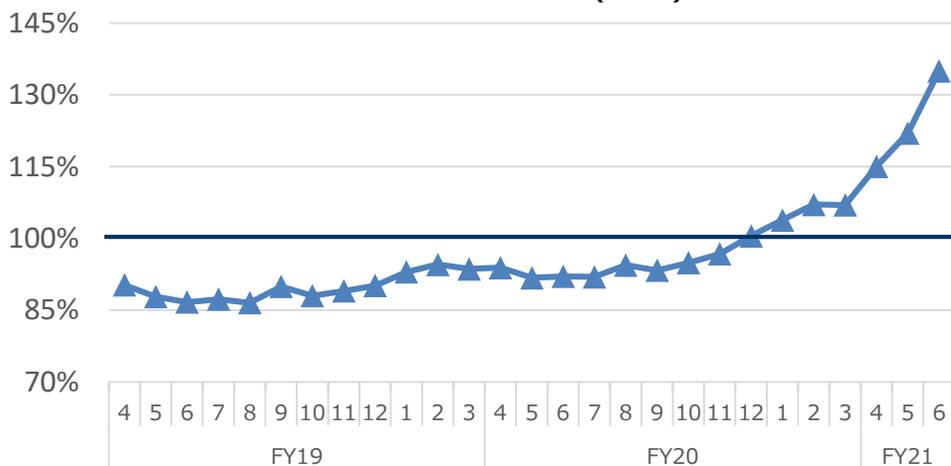
(億円、%：営業利益率)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期差	2019年度 同期差
制御機器事業 (IAB)	138 (16.8%)	231 (20.8%)	+93 (+4.0P)	+98 (+5.9P)
電子部品事業 (EMC)	1 (0.5%)	21 (8.0%)	+20 (+7.6P)	+21 (+8.0P)
社会システム事業 (SSB)	△ 9 (-)	△ 17 (-)	△ 9 (-)	△ 4 (-)
ヘルスケア事業 (HCB)	45 (16.9%)	64 (18.3%)	+19 (+1.4P)	+30 (+6.0P)
本社他 (消去調整含む)	△ 51	△ 40	+11	+13
合計	125 (8.5%)	258 (13.7%)	+134 (+5.2P)	+158 (+7.5P)

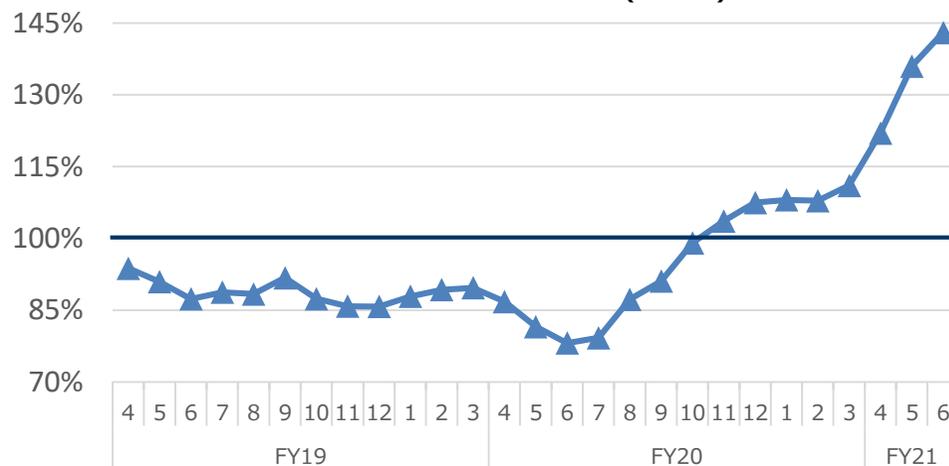
セグメント別 売上高 前年同期比伸び率推移 (3カ月移動平均)

制御機器事業、電子部品事業、ヘルスケア事業は売上急拡大。社会システム事業も回復基調。

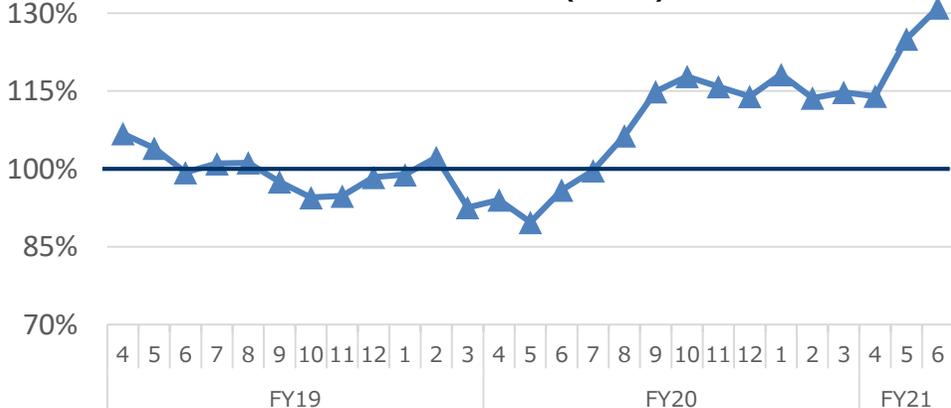
制御機器事業 (IAB)



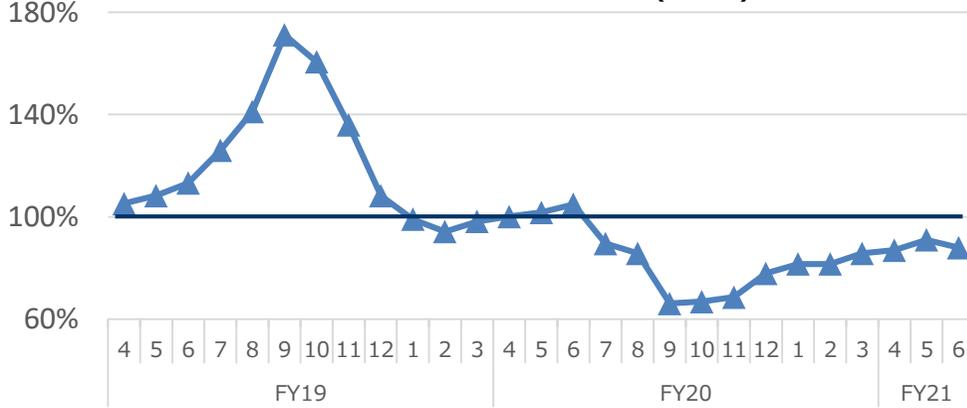
電子部品事業 (EMC)



ヘルスケア事業 (HCB)



社会システム事業 (SSB)



制御機器事業（IAB）エリア別 売上成長率

中華圏に加え、他のエリアでも売上が拡大。

2021年度 1Q期間(4-6月) 制御機器事業 エリア別 売上成長率 (前年同期比、現地通貨ベース)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	
					韓国以外	韓国のみ
	+20%	+28%	+49%	+28%	+37%	+11%

FY19
1Q比

(+8%)

(+11%)

(+6%)

(+45%)

(+8%)

(+46%)

制御機器事業（IAB）エリア別 好調要因

拡大する需要を全エリアで的確に捉えて、売上を大きく伸ばした。

日本

デジタル：半導体製造装置や5G向け電子部品需要拡大
自動車：EV向けを中心に部品メーカーの投資回復

米州

順調なワクチン普及による幅広い業界での需要回復
デジタル：半導体製造装置の需要拡大

欧州

順調なワクチン普及による幅広い業界での需要回復
食品・日用品：欧州内・中国向け食品包装機需要拡大

中華圏

デジタル：二次電池、スマホ周辺機器向け投資拡大
自動車：EVを中心とした新車投資拡大

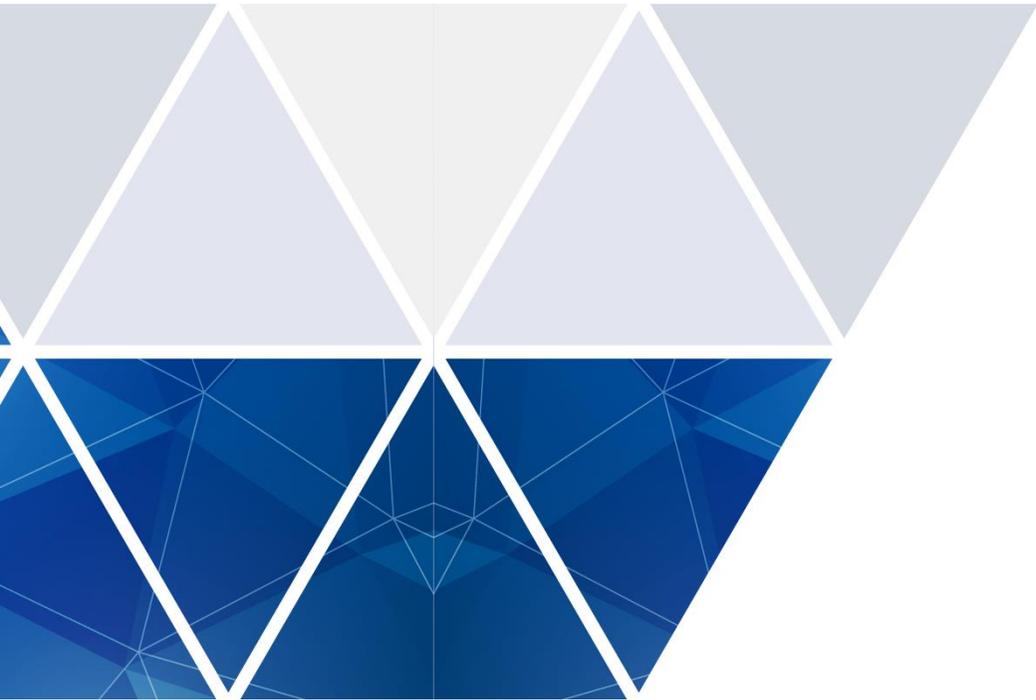
東南アジア他

デジタル：半導体需要が広く拡大。
食品・日用品：コロナ影響を受けた省人化投資拡大

サプライチェーンの状況について

**部材不足や素材・物流費の高騰が発生したが、適切に対応。
引き続き、リスクを最小限に抑える対策を実施していく。**

	期初からの変化	対応策
半導体・樹脂 不足	IABとEMCを中心に 一部商品で納期遅延発生	<ul style="list-style-type: none"> 追加部材確保に向けた交渉 代替品切替の推進
素材(銀・銅) 価格高騰	価格高騰による マイナス影響拡大	<ul style="list-style-type: none"> 素材価格に連動した売価改善 省材化技術開発の加速
物流費 高騰	コンテナ価格増や航空便 利用増等で費用水準上昇	<ul style="list-style-type: none"> 物流ルート見直しによる効率化 全セグメント共同入札による スケールメリットの発揮



2021年度 通期見通し



事業セグメント別 事業環境認識

グローバル経済の回復基調は継続。

制御機器事業
(IAB)

自動車： EV/ADAS関連投資を中心に緩やかな回復基調継続。
 デジタル： 世界的な半導体投資や二次電池需要拡大を中心に、引き続き好調。
 食品・日用品： ワクチン普及に伴うベース回復に加え、環境関連投資により堅調継続。
 社会インフラ： 太陽光発電など材料高の影響で一時的な調整局面。

電子部品事業
(EMC)

民生： 中国を中心に、グローバルで回復基調継続。
 車載： 米州、中国市場を中心に回復基調継続。

社会システム事業
(SSB)

鉄道： 投資抑制の動きにより、低調継続。
 交通： 堅調な更新需要が継続。
 エネルギー： コロナ影響からの緩やかな回復基調継続。

ヘルスケア事業
(HCB)

血圧計： オンライン販売を含め、グローバルで引き続き好調。
 体温計： 好調に推移した1Q需要から一服。
 その他： ネブライザは中国市場、低周波治療器は日本市場で回復基調継続。

2021年度 通期見通し

**2Q以降も好調な事業環境が継続する見込み。
通期見通しは必要に応じて2Qに見直す。**

	2020年度 実績	2021年度 見通し	(億円) 前年度比
売上高	6,555	7,000	+6.8%
売上総利益 (売上総利益率)	2,984 (45.5%)	3,250 (46.4%)	+8.9% (+0.9P)
営業利益 (営業利益率)	625 (9.5%)	700 (10.0%)	+12.0% (+0.5P)
当期純利益	433	480	+10.8%
米ドル 平均レート (円)	105.8	108.0	+2.2
ユーロ 平均レート (円)	123.2	128.0	+4.8
人民元 平均レート (円)	15.5	16.5	+1.0



企業価値向上に 向けた取り組み

成長サイクルの継続強化

これまでの取り組みにより、成長サイクルが回り始めた。
今後も継続して取り組みを強化することで、持続的な成長を実現する。

売上成長

稼ぐ力の向上

(売上総利益率の改善)

成長サイクルの
継続強化

成長投資

稼ぐ力の向上

事業ポートフォリオマネジメントやソリューション力強化の取り組みによって、
稼ぐ力が大きく向上し、筋肉質で高収益な事業体へ進化。

売上総利益率向上の取り組み

事業ポートフォリオマネジメント

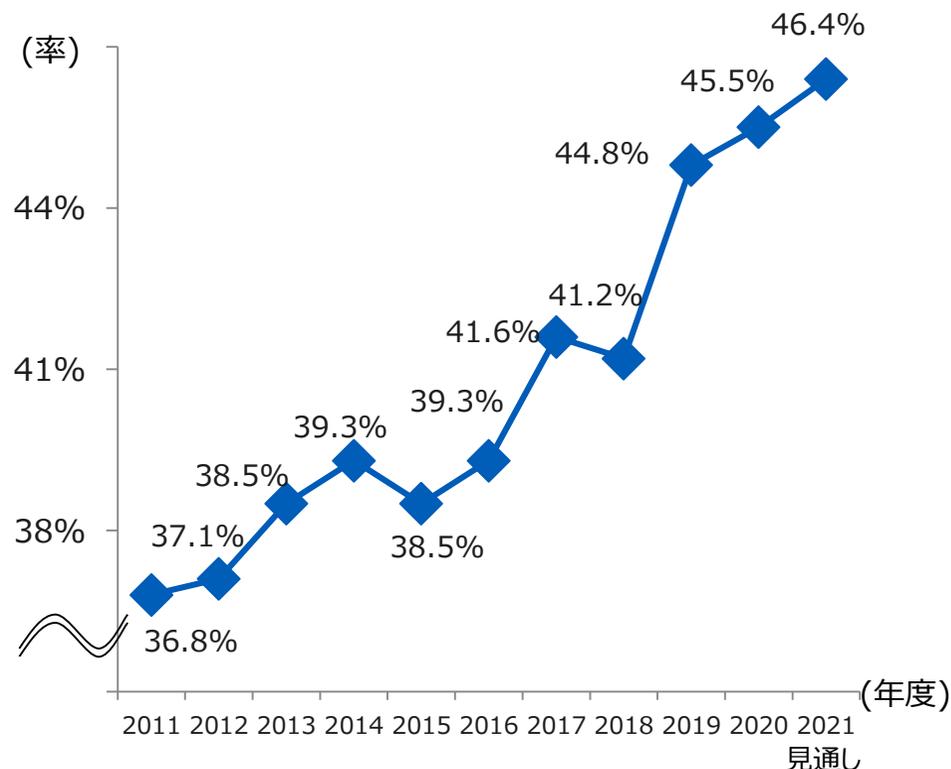
ROIC逆ツリー展開

(事業ユニットごとの生産・販売・開発・企画の連結運営)

付加価値の高い新商品・サービス

(強い商品とソフトウェアをパッケージにして
トータルソリューションで提供)

売上総利益率推移



MEMSデバイスの開発・生産事業の譲渡

**MEMSデバイスの開発・生産事業の譲渡契約をミネベアミツミ社と締結。
外部調達が可能なのはパートナーから調達し、ソリューション創出に注力していく。**

概要

圧力センサー、フローセンサー等の内需向けMEMSデバイスの開発・生産に関わる施設・設備の譲渡および社員の転籍
(滋賀県・野洲市のオムロン野洲事業所の一部)

スケジュール

契約締結日	2021年6月30日
譲渡日	2021年10月1日 (予定)

狙い

事業ポートフォリオの最適化
-ソリューション創出へのさらなる注力

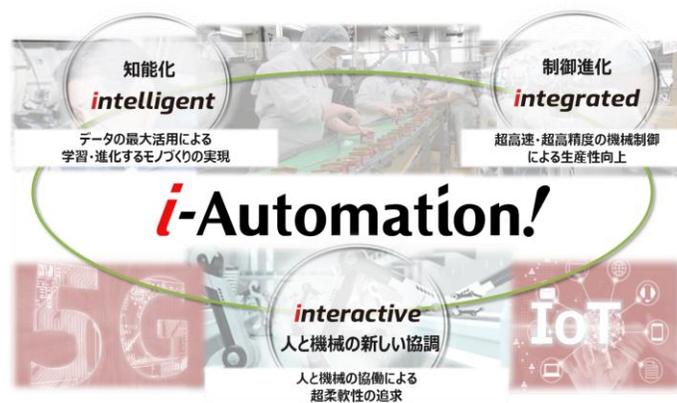
* MEMS・・・Micro Electro Mechanical Systems

成長投資によるソリューション力強化

ソリューション力強化に向けた積極的な投資を実施してきた。

ファクトリーオートメーション

3つの“i”でモノづくりにイノベーションを起こす

M&Aによる
ラインナップ強化オートメーションセンタ拡充
SEの強化革新
アプリケーション

ヘルスケア

ゼロイベント(脳・心血管疾患発症ゼロ)の実現

**ZERO
EVENTS**



革新的な製品の開発

遠隔診療サービス

制御機器事業におけるソリューション力強化

食品・日用品メーカーが推進する脱プラスチックに向けた包装材の進化に貢献。

脱プラスチックに向けた 包装材の進化

- ・安定したシール品質の実現
- ・量産化技術の確立



オムロンのソリューション

**最新PLCを活用した
温度調節ソリューションで
新生産工法確立に貢献**



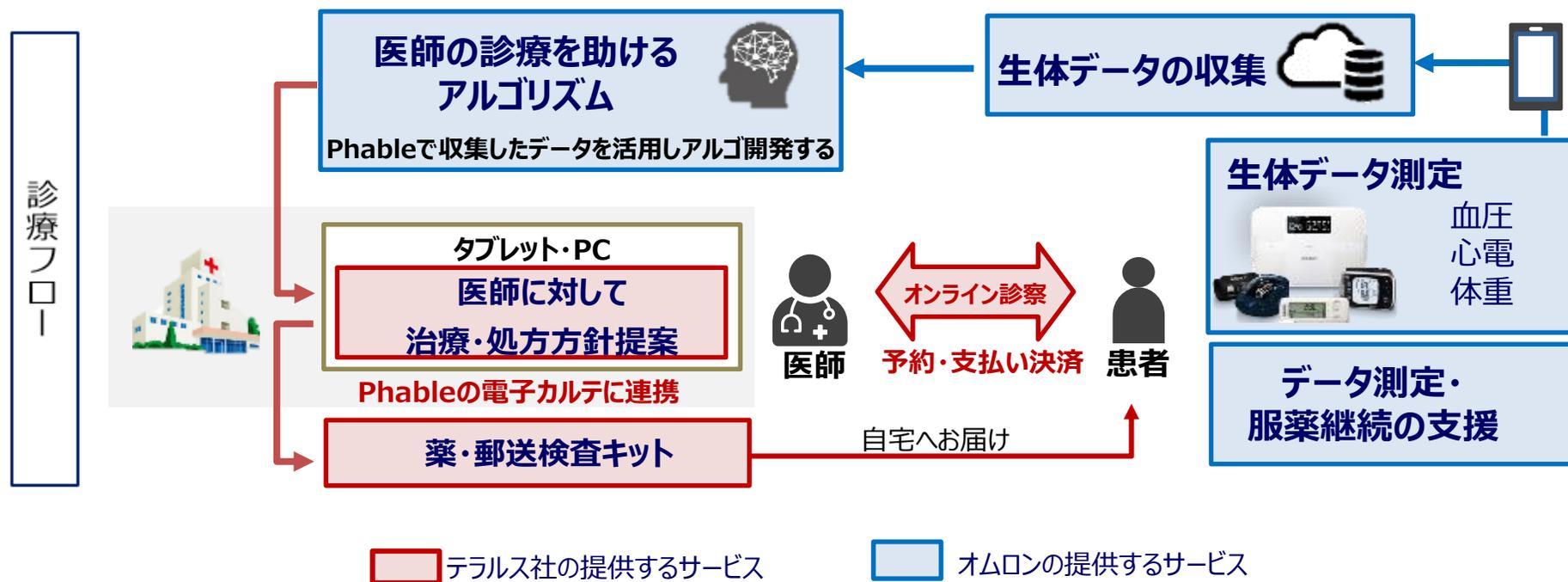
ヘルスケア事業におけるソリューション力強化

インドでオンライン遠隔診療サービスを運営しているテラルス社に出資*。
オムロンユニークな遠隔診療サービスは順調に市場をグローバルに拡大。

* オムロンベンチャーズ株式会社からの出資

テラルス社事業内容 オンライン遠隔診療サービスPhableの運営

サービスの特徴 医療機関に無償のプラットフォームを提供し、検査や薬、保険などの取扱手数料で収益を上げる

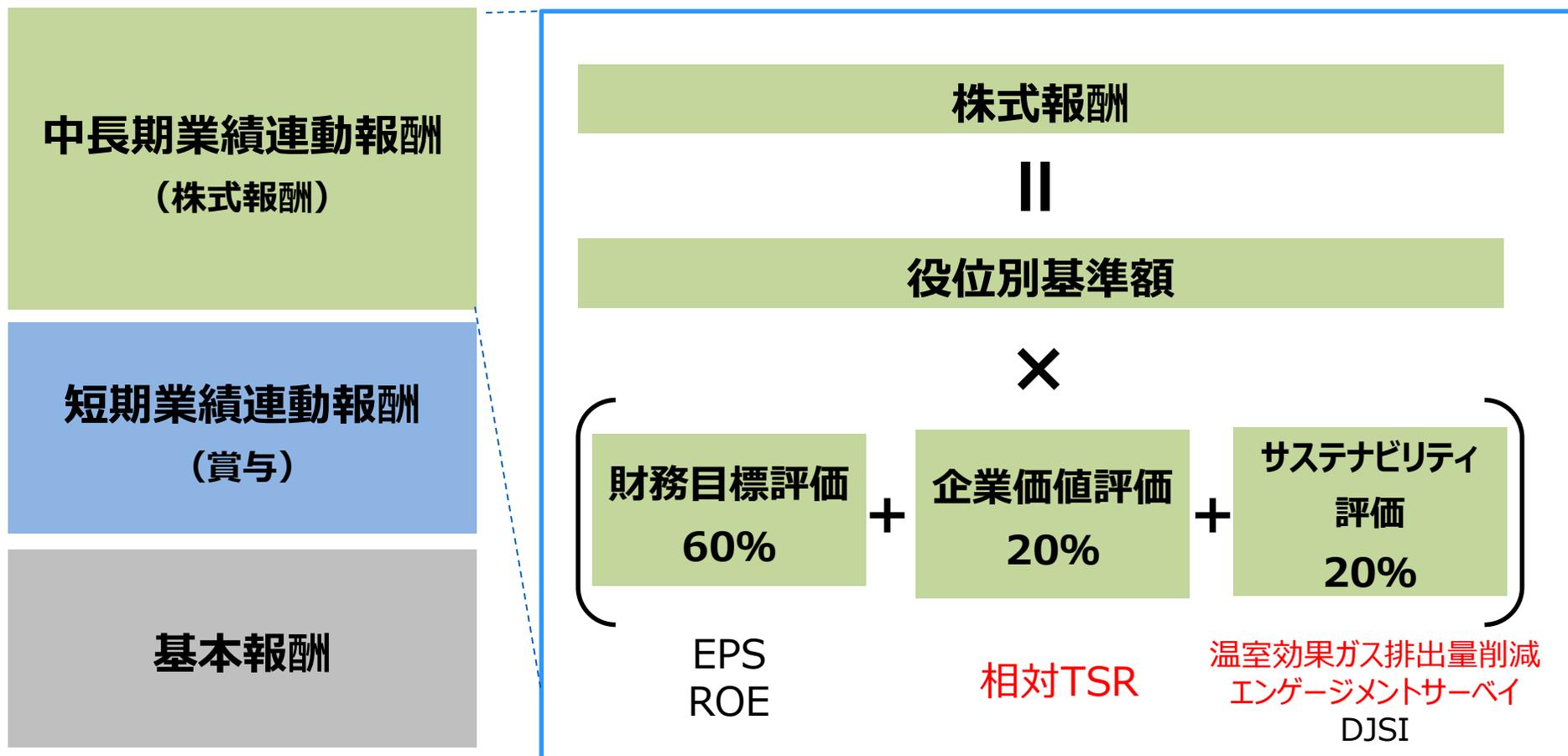


成長サイクルの継続強化

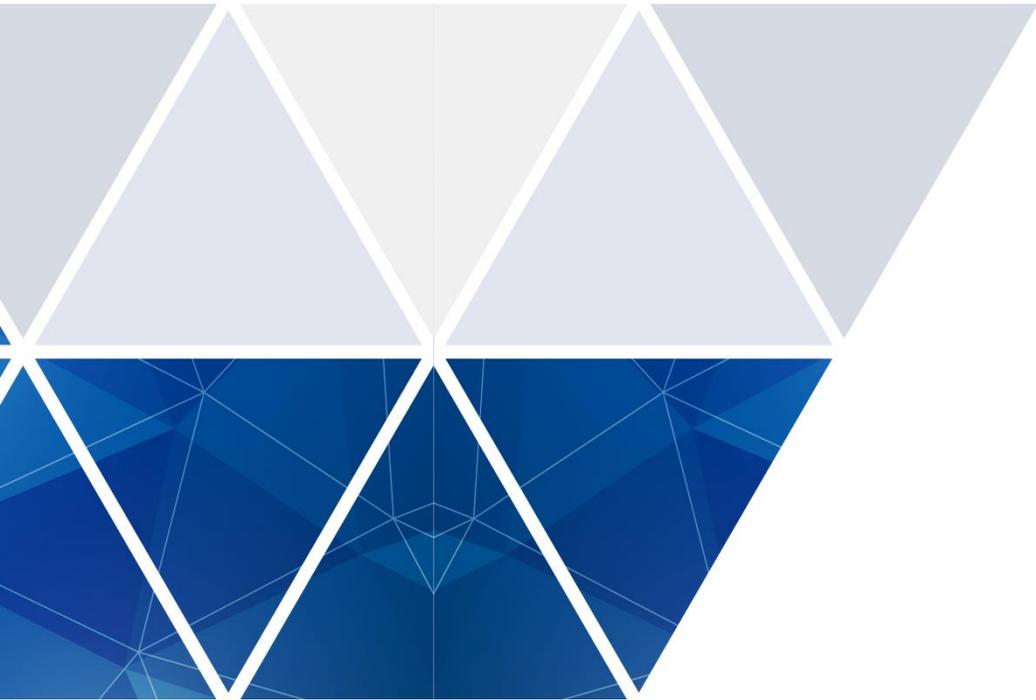


報酬ガバナンスの進化

事業環境やステークホルダーの期待の変化に合わせ、報酬ガバナンスを進化。
次期長期ビジョン及び次期中期経営計画を見据えて中長期業績連動報酬を改定。



OMRON



參考資料

2021年度見通し セグメント別 売上高

(億円)

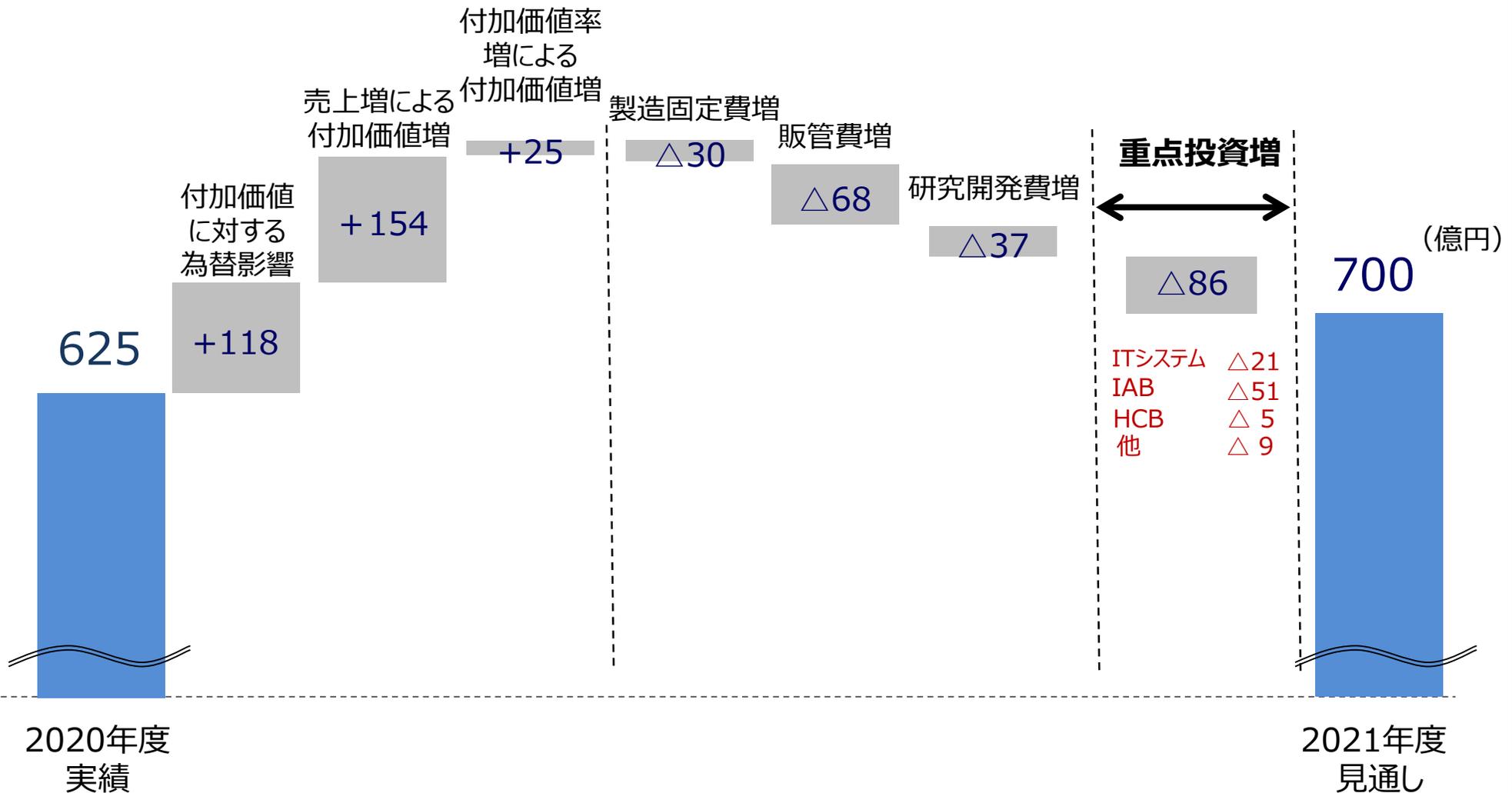
	2020年度 実績	2021年度 見通し	前年度比
制御機器事業 (I A B)	3,464	3,750	+8.2%
電子部品事業 (E M C)	860	940	+9.3%
社会システム事業 (S S B)	957	960	+0.4%
ヘルスケア事業 (H C B)	1,231	1,330	+8.1%
本社他 (消去調整含む)	43	20	△53.5%
合計	6,555	7,000	+6.8%

2021年度見通し セグメント別 営業利益

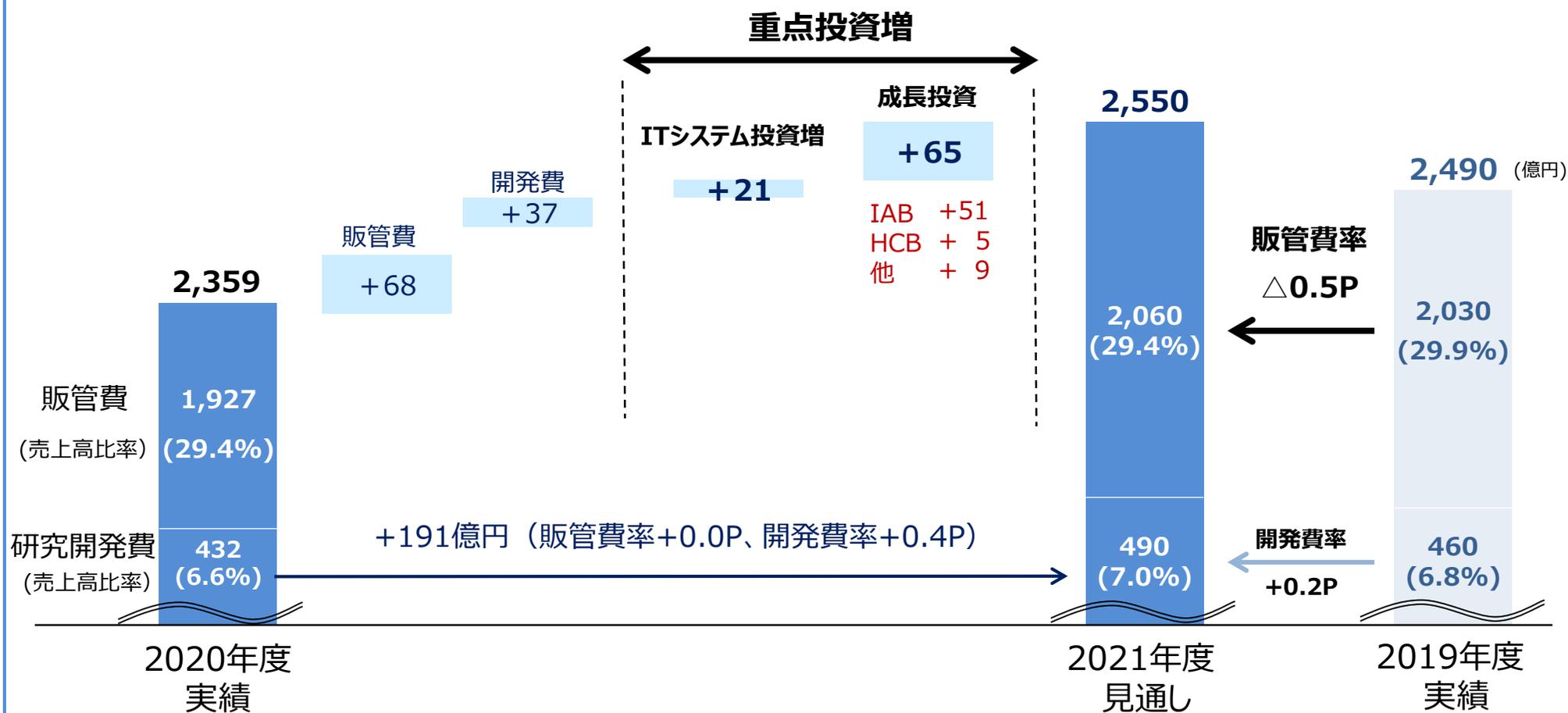
(億円、%：営業利益率)

	2020年度 実績	2021年度 見通し	前年度差
制御機器事業 (I A B)	588 (17.0%)	630 (16.8%)	+42 (△0.2P)
電子部品事業 (E M C)	30 (3.4%)	45 (4.8%)	+15 (+1.3P)
社会システム事業 (S S B)	57 (6.0%)	70 (7.3%)	+13 (+1.3P)
ヘルスケア事業 (H C B)	206 (16.7%)	225 (16.9%)	+19 (+0.2P)
本社他 (消去調整含む)	△ 255	△ 270	△ 15
合計	625 (9.5%)	700 (10.0%)	+75 (+0.5P)

2021年度見通し 営業利益増減（前年度差）



2021年度見通し 固定費増減（前年度差）



連結貸借対照表

	2021年3月末	2021年6月末	(億円) 前年度末差
流動資産	5,144	5,287	+143
(現金及び現金同等物)	(2,508)	(2,661)	(+153)
(たな卸資産)	(1,033)	(1,047)	(+14)
有形固定資産	1,130	1,121	△10
投資その他の資産	1,929	1,937	+8
資産の部合計	8,204	8,345	+142
流動負債	1,614	1,512	△101
固定負債	497	477	△20
負債の部合計	2,110	1,989	△121
株主資本	6,069	6,333	+264
非支配持分	25	23	△2
純資産の部合計	6,094	6,356	+263
負債及び純資産合計	8,204	8,345	+142
株主資本比率	74.0%	75.9%	+1.9P

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期差
営業活動によるキャッシュ・フロー (営業CF)	275	222	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー (投資CF)	△46	△49	△2
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	229	174	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー (財務CF)	△113	△88	+25
期末の現金残高	1,959	2,661	+702
設備投資	39	48	+9
減価償却費	60	57	△3

2021年度 為替前提

	2021年度 為替前提	1円変動による影響額（通期） *人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	108円	約17億円	約2億円
ユーロ	128円	約9億円	約4億円
人民元	16.5円	約8億円	約2億円

※ 新興国通貨等が、主要通貨に想定通り連動しなかった場合、感応度に影響を与えます。

主要ESGインデックスへの組み入れ (2021年7月現在)

<オムロンが選定されているESGインデックス>

- ✓ DJSI – World **4年連続選定**
- ✓ FTSE4Good Index Series **6年連続選定**
- ✓ MSCI ESG Leaders Indexes **7年連続選定**
- ✓ MSCI SRI Indexes **5年連続選定**
- ✓ STOXX Global ESG Leaders Indices **5年連続選定**
- ✓ FTSE Blossom Japan Index **5年連続選定**
- ✓ MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 **5年連続選定**
- ✓ MSCI 日本株 女性活躍指数 **5年連続選定**
- ✓ S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 **3年連続選定**

*オムロンでは、CDP気候変動・水に関する調査を含むESG評価機関による調査など、多くの外部からの調査に協力し、情報を開示しています。
2020年度評価：気候変動「A-」、水セキュリティ「A-」

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good

2021 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

STOXX

Member 2020/2021
**ESG Leaders
Indices**

**2021 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX**

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



FTSE Blossom
Japan

**2021 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)**

THE INCLUSION OF OMRON CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF OMRON CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



DRIVING SUSTAINABLE ECONOMIES

社外からの評価 (2021年7月現在)

<ESG関連表彰・銘柄選定>

S&Pグローバル社選定

- ✓ S&P サステナビリティアワード ゴールドクラス **初選定**

Sustainability Award
Gold Class 2021

S&P Global

一般社団法人 日本取締役協会 主催

- ✓ コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー2018 経済産業大臣賞 **2018年度受賞**



環境省 主催

- ✓ 平成30年度 地球温暖化防止活動大臣表彰 「対策活動実践・普及部門」を受賞 **2018年度受賞**



日本経済新聞社 主催

- ✓ 日経SDGs経営大賞 「SDGs戦略・経済価値賞」を受賞 **2019年12月受賞**

経済産業省・東京証券取引所 選定

- ✓ 企業価値向上表彰 大賞
- ✓ なでしこ銘柄
- ✓ 健康経営銘柄
- ✓ 健康経営優良法人～ホワイト500～

2014年度受賞

2017年度より4年連続選定

2018年度より3年連続選定

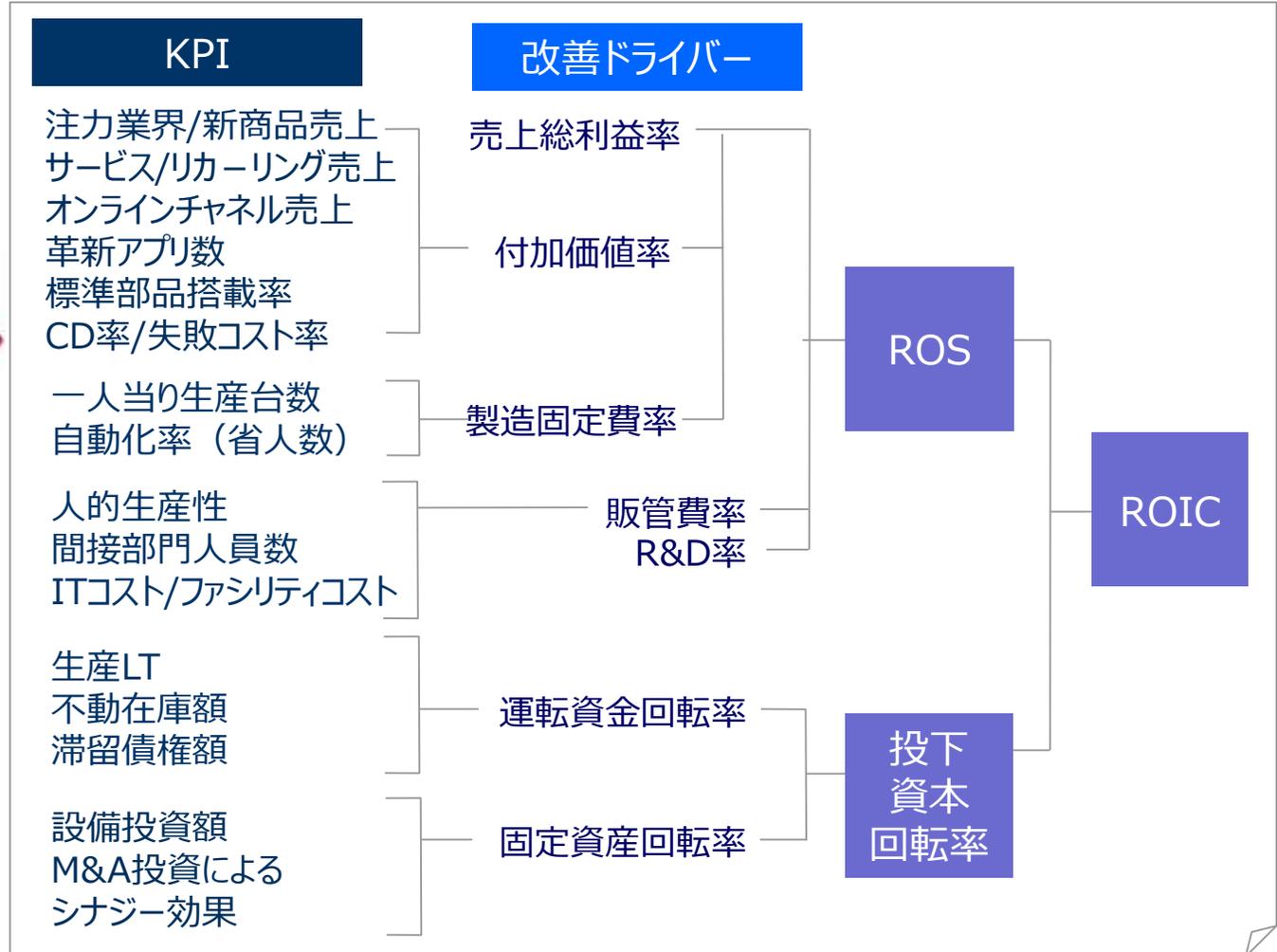
2016年度より5年連続選定



日本経済新聞社 選定

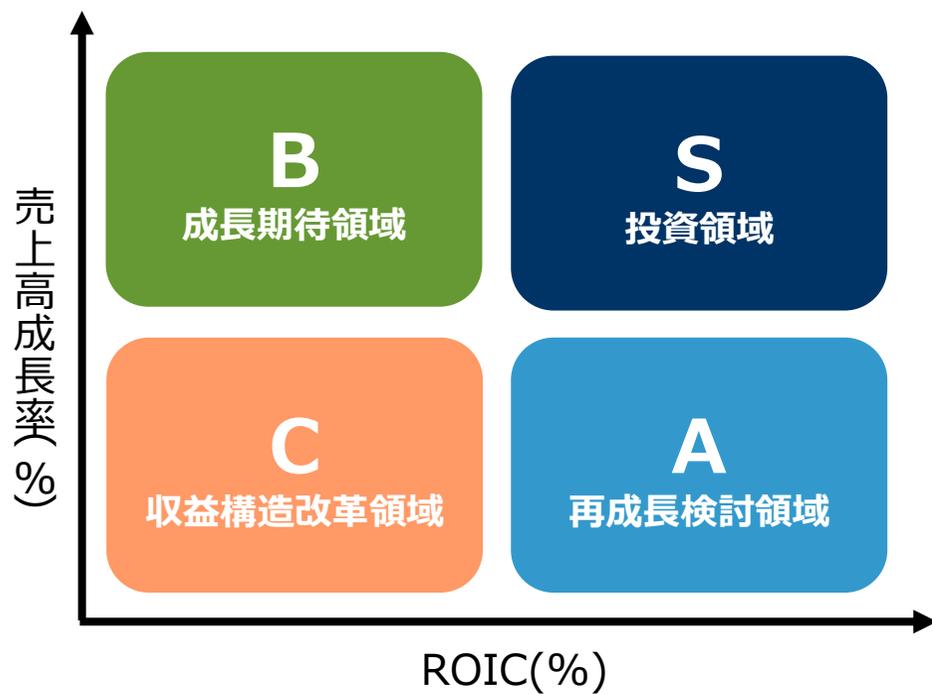
- ✓ 日経225 **2019年3月 初選定**

ROIC逆ツリー展開 (2.0)

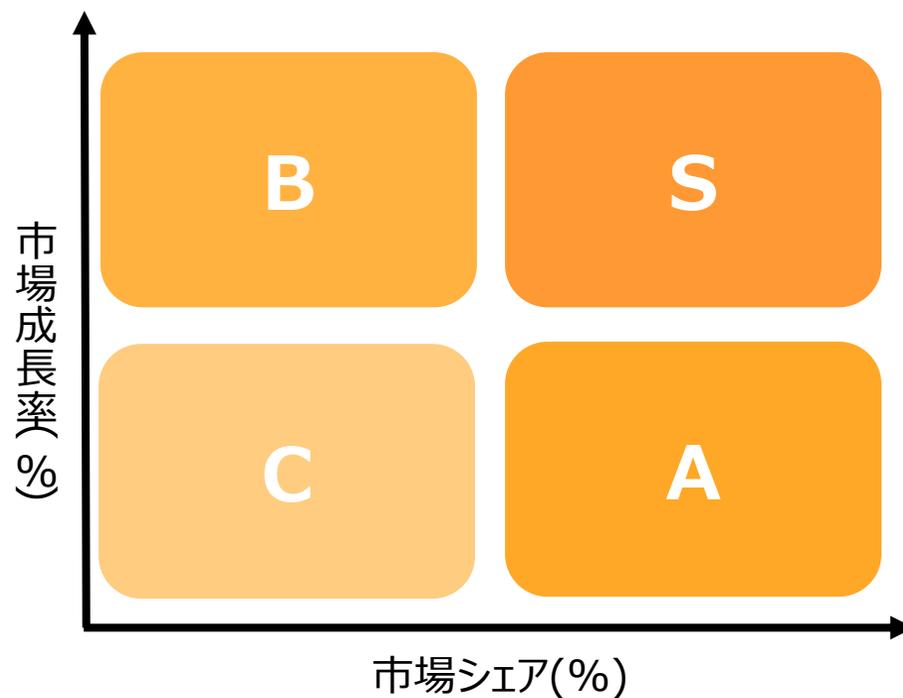


事業ポートフォリオマネジメント

経済価値評価



市場価値評価



ROIC計算式

<連結貸借対照表>

科目	年 月 末
資産の部	
流動資産	
…	
…	
有形固定資産	
…	
投資その他の資産	
…	
負債の部	
流動負債	
短期債務	
…	
…	
…	
純資産の部	
株主資本	
…	
…	
…	
純資産の部合計	
負債及び純資産合計	

当社株主に帰属する
当期純利益

ROIC =

投下資本

投下資本 = 純資産 + 有利子負債

※投下資本は、前年度末実績および当年度の各四半期毎の実績または見通しを平均して算出。

2021～2024年度の想定資本コスト : 5.5%

<注意事項>

1. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
2. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
3. 当資料は「2022年3月期 第1四半期 決算短信」に準拠し作成しています。
差額、比率については百万円単位で計算し、四捨五入しています。

< I R に関するお問い合わせ >

オムロン株式会社

グローバルインベスター & ブランドコミュニケーション本部 IR部

電話 : 03-6718-3421

E-mail : omron-ir@omron.com

Webサイト : www.omron.com/jp/ja/